

【最前線を探る/国土交通省橋梁関連コンサルタント業務の落札状況

プロポ案件オリコンが首位 技術力優位鮮明に】

省交度
国交度
27年(2月)

プロポ案件 オリコンが首位 技術力優位鮮明に

平成27年度(2月まで)の国土交通省橋梁関連コンサルタント業務の落札状況はオリエンタルコンサルタンツが落札件数でトップに立った。2位以下はきん差で大手コンサルが続くが、プロポーザル案件や総合評価方式でのいわゆる逆転落札の件数が多い企業が上位を占める結果となった。総合評価での逆転落札は66%に上るが、上位企業は軒並みこれを上回る逆転率を見せており、技術力の重要さが鮮明になった。(国土交通省の発表資料を元に分析)

最前線を探る

27年度(2月まで)の橋梁関連のコンサル業務の入札は480件で総額約151.8億円。うちプロポーザル方式が74件(15%)、総合評価方式が290件(60%)、価格競争方式が108件(22%)などだった。プロポーザル方式は金額ベースでは24%を占めるまでになっており存在感が増している。企業別の落札状況は件数ではトップがオリエンタルコンサルタンツの32

件でうち9件がプロポーザル。また総合評価方式で入札金額2位以下から技術点の高さで評価値トップとなるいわゆる逆転落札は23件中17件で、逆転率73%は全体平均を上回った。2位は30件のパシフィックコンサルタンツで、プロポは3件にとどまったが総合評価方式で26件、うち逆転が19件で逆転率73%は首位のオリエンタルコンサルタンツと同率。

以下、大日本コンサルタンツ、エイト日本技術開発、中央コンサルタンツ、長大の4社が落札20件超だった。橋梁調査会は主に診断業務を8件、総額約15億円を受注し、件数首位のオリエンタルコンサルタンツをかわして金額ではトップになった。件数上位20者の中では構研エンジニアリングと開発工営社が地元の北海道で着実に件数を伸ばし、大日本コンサルタンツ

国土交通省橋梁関連コンサルタント業務の落札状況

企業名	プロポーザル		総合評価		価格競争		総計	
	落札数	落札金額(千円)	落札数	落札金額	落札数	落札金額	落札数	落札金額
オリエンタルコンサルタンツ	9	486,080	23	17	848,010		32	1,334,090
パシフィックコンサルタンツ	3	170,310	26	19	1,028,740	1	30	1,211,320
大日本コンサルタンツ	4	134,500	23	16	777,780		27	912,280
エイト日本技術開発	3	103,950	21	17	808,770		24	912,720
中央コンサルタンツ	4	103,000	19	15	506,310	1	24	616,880
長大	6	246,670	14	9	478,290	2	22	725,260
構研エンジニアリング	6	111,400	6	5	162,310	5	17	332,360
開発工営社	1	17,400	5	2	74,950	10	16	202,250
総合技術コンサルタンツ	5	215,710	8	5	232,890		13	448,600
橋梁コンサルタンツ			12	9	266,740		12	266,740
土木技術コンサルタンツ				12	152,200		12	152,200
日本工営	1	29,270	8	3	280,250	2	11	329,560
ドーコン	3	83,950	6	6	246,950	1	10	345,100
セントラルコンサルタンツ	1	24,590	7	4	423,170	2	10	448,100
建設技術研究所			9	8	363,740	1	10	375,490
大日コンサルタンツ			9	4	401,730	1	10	411,830
八千代エンジニアリング	3	108,170	5	1	189,130	1	9	310,760
新日本技研	1	39,700	6	4	176,250	2	9	216,430
復建技術コンサルタンツ	1	28,800	8	8	169,710		9	198,510
橋梁調査会	7	1,228,300	1		275,000		8	1,503,300

も本拠の中部地整を中心、落札結果となった。コンサルタンツが24件、九州地整で8件、北海道開発局で6件落札したほか、橋梁コンサルタンツは12件全て九州地整局では146件中104件が指名競争だった。